



中等11回生の校外学習に卒業生が随行!

紅葉が色付き秋が深みを増した11月25日(金)、中等11回生が京都で校外学習を行いました。

午後はグループで活動を行い、その内計49名の11回生が京都大学の吉田キャンパス、桂キャンパスを訪れました。その際、京都大学に在学中の卒業生(1~8回生の計9名)に協力していただき、キャンパスツアーを実施しました。

当日は好天の下、卒業生の学部ごとに分かれ、研究室や図書館を訪れるなど大学構内の様々な場所を散策しました。11回生は在学生と一緒に構内を回ることで、将来のキャンパスライフに想いを膨らませていたようです。また、受験の相談も含め、11回生から熱心に質問を受け、参加していただいた卒業生も楽しい時間を過ごせてとても嬉しかったと話していました。在校生と卒業生が直接関われる機会を持つことができ、双方にとって貴重な時間になったと思います。

ご協力いただいた卒業生の皆さん、ありがとうございます。今後このような企画を広く実施していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。



キャンパスツアー参加者の声

この度は、キャンパスツアーという形で京都大学を案内していただき本当にありがとうございました。

自分自身大学に入るという経験が初めてで、大きな建物にとってもワクワクしました。各学部のキャンパスや購買に案内していただき、「こんな凄いところで勉強してる大学生かっこいい!」と憧れを抱きました。購買に本が沢山売られているのがとても羨ましかったです。

大学を案内してくださった先輩からは、KPのことや受験のこと、大学についてなど沢山のお話を聞かせていただきました。先輩が高校生の頃のお話も聞くことができ、改めて「もっともっと勉強やKPなどの活動を頑張らないと...!」と思いました。本当に勉強になることが多く、行ってよかったなと心から思います。綺麗でかっこいい先輩をみて、自分もこんな大学生になりたいと強く思いました。

KPや課題、部活などの日常の積み重ねを大切にしながら、自ら学んでいく姿勢を忘れず努力を続けようと思います。高校生活を目一杯楽しんで、華やかな大学デビューを飾りたいです!

貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

(11回生 横山史織)

住吉の東京同窓会が開催される!

10月1日(土)、日本青年館ホテルにて「神戸大学附属住吉東京同窓会」が開催されました。

この同窓会は、附属住吉出身で東京に在住の先輩方が運営されているもので、コロナ禍の影響もあり会の開催は3年ぶりとなりました。

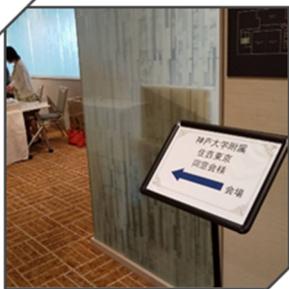
当日は60代前後の方々を中心に計100名を超える卒業生が一堂に会し、近況を報告しあったり、在学当時の思い出話に花を咲かせていたりしました。また、学校と中継を繋ぎ、現在の校舎の様子を卒業生の皆さんに知っていただく機会にもなりました。

東京方面に進学、就職している中等卒業生もこの会にお誘いいただき、1回生から8回生までの計20名が齋木先生と共に参加しました。

隣接する国立競技場を一望できる日本青年館ホテルからの景色は圧巻でした

が、各業界で活躍されている先輩方との会話はそれ以上に印象的で、多くの学びと活力をいただけた貴重な時間となりました。

来年も10月に開催される予定とのこと。附属の奥深さを再発見できる機会になると思いますので、関東在住の方はぜひご参加ご検討ください。



Instagram、Twitter アカウント開設!

同窓会からの情報発信手段を拡張すべく、InstagramとTwitterのアカウントを開設しました。当アカウントでは、今後活動を拡充させていく同窓会の情報を発信したり、学校からの新着情報を共有したりしていきたいと考えています。既にアップしている情報のチェックと併せ、各アカウントのフォローを是非お願いします。

Instagram



Twitter

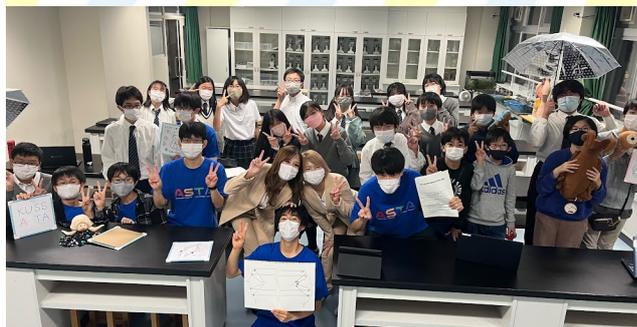


サンテレビ『キャッチ+』にて ASTA が取り上げられる

10/12 にサンテレビで ASTA の活動が放映されました。そこでは兔原祭で行ったパラボラアンテナの実験、入試問題予想班や競技数学班、生物班が出演しました。実際はアドリブが多く大変でしたが、お茶の間に ASTA の素晴らしさ、ユニークさを届けられたことはとても嬉しく思っています。ASTA は広い意味での「科学」を集まって学び合う場として明日も成長し続けます。

(10 回生 ASTA 座長 稲岡慶一郎)

■放送の様子は、<https://www.youtube.com/watch?v=SB1Wph4uArs>



10 回生 修学旅行@北海道

私達 10 回生は、10/3 ~10/6 に 3 泊 4 日で北海道へ行きました。北海道の郷土料理であるジンギスカンを食べたり、小樽や札幌を自由に散策したりと、とても充実した日々を過ごしました。コロナウイルスの影響でオーストラリアに行くことは叶いませんでしたが、10 回生にとってかけがえのない思い出を作るといことは叶ったと自負しております。以上をもちまして私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



(10 回生 修学旅行実行委員長 藤林廉)

12 回生 研修旅行@沖縄

コロナ禍の実施のため制約が多く、民泊も無くなり、従来とは少し違う形の研修旅行にはなりました。しかし、現地企業の協力のもと OSP(Okinawa SDGs Project)の活動したり、美ら海水族館に行ったり、沖縄市内を班別で観光しました。また、実行委員の提案で、平和学習にコザ町歩きを加えることもでき、楽しく充実した学びのある研修旅行になりました。特に大きな問題もなく、無事に研修旅行を終えられたことに感謝しています。

(12 回生 研修旅行実行委員長 別府ありさ)



学校 NEWS 短 信

体育祭、音楽祭が開催される

10 月 14 日 (金)、王子スタジアムにて体育祭が開催されました。6 学年揃っての開催で、当日は晴天の下、生徒が一生懸命競技に取り組み充実した行事になったようです。

また、11 月 15 日 (火) には音楽祭が開催されました。前日祭は学校の体育館で、当日は神戸文化ホールで行われ、学年、クラス、選択音楽の生徒が合唱を披露しました。

5 月に開催された兔原祭と併せ、今年度の生徒会三大会事が無事終了しました。

第70回統計グラフ全国コンクールで全国1位

統計情報研究開発センター主催の「統計グラフコンクール」において、11 回生が特選特別賞(全国1位)に輝きました。また、他に 11 回生 2 名が入選、12 回生 1 名が佳作を受賞しています。

コーラス部が全国大会で銀賞

コーラス部(前期課程)が、10 月 30 日(日)に青森市で開催された全日本合唱コンクール全国大会に出場し、銀賞に輝きました。

■卒業生だより

小川 京一郎さん [中等4回生]

附属のみなさん、お久しぶりです。4回生の小川京一郎です。

今回、光栄なことに広報紙に寄稿させていただけることになりました。せっかくの機会ですので、大学生活から近況までお話ししたいと思います。

まず結論から申しますと、現在は保険会社の1年目職員として働いております。官僚になると言ってお話に行った自分を知っている方からすると、かなり意外かもしれませんね。

大学に入った頃はやはり官僚なのかなと思っていたのですが、2年生の頃に大きな転機がありました。それが大学と民間企業の共同プログラムに参加し、中国全土を回ったことです。各地の拠点でさまざまな方々からお話を伺う中で、自ら戦略を練って中国市場を開拓する、企業の営みのダイナミクスに興味を持ちました。そして、自分は官僚というルールメイカーより民間というプレイヤーで活躍したい、と考えるようになったのです。

その後3、4年と専門課程で勉強が始まります。私は法学部でしたが経済にも興味があったので、経済学部のゼミにも所属しており、そこでコーポレート・ファイナンスという分野を学んでいました。投資や企業の価値をどう測るか、というお話なのですが大変面白く、この分野を活かした働きができる会社に行きたいと思い、今の会社に辿り着きました。あまり知られていませんが、保険会社は機関投資家と呼ばれ、巨額の資金を株式や債券などに投資しています。まさに投資理論を勉強してきた自分にはうってつけだったというわけです。

現在はアセットマネジメント事業の統括部門に所属しています。保険の本業とは少し違うのですが、アセマネも身近な年金や投資信託の資産運用を担っている業種です。金融マーケットの状況を踏まえて資産を投資・運用する、そのお手伝いをする部署なのですが、勉強になることだらけで毎日とても面白いなと思いつながら仕事をしています。

最近の業界のトレンドとして海外資産への投資があり、自分もそこに貢献できるよう、海外現地法人で運用経験を積むのが今の目標です。投資の知識も英語力もまだまだですが、コツコツ勉強して必ず行きたいと思っています。

ただ、この時代ですからずっと同じ会社にいるかは分かりません。もしかしたら、働く中でやっぱり自分はプレイヤーよりルールメイカーだ、となる可能性もあります。全てはこれから待ち受けているイベント次第。行き当たりばったりの人生ですが、だからこそ面白いのだと思います。

思い返してみれば附属を卒業してから今まであっという間でした。みなさんに負けない活躍ができるよう今後とも精進しますので、今後ともよろしく願います。また同窓会で、成長した姿でお会いしましょう！



Kyoichiro Ogawa

中等4回生。中等時代には模擬国連に出場し、大学では法学を専攻。2022年10月からは配属先が大阪となり、4年半ぶりの関西生活を満喫中。

お問い合わせフォーム

■ 同窓会の活動に関して



<https://forms.gle/JyN9kAfL5IEN4boi7>

■ 広報紙に関して



<https://forms.gle/RyVcpmkeqy4ALDy5>

寄付のお願い 母校の教育活動の支援のため、寄付へのご協力よろしく願います。



附属学校部 HP : <http://www.schools.kobe-u.ac.jp/donations.html>

湊 あゆみさん [中等6回生]

みなさんこんにちは！

寒さが厳しくなってきましたが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。6回生の湊あゆみです。今回同窓会誌紙の寄稿のお誘いをいただき、大変光栄に嬉しく思っております。

現在、私は東京藝術大学音楽学部の3年生でハープを専攻しております。皆さま、ハープという楽器をご存知でしょうか？オーケストラの中で時々端の方に登場するあの大きくて不思議な形をした楽器です。ハープはオーケストラだけでなく、ソロでの演奏も定番で、フルートなどと2人や3人での演奏もよく行います。大学では音楽史や音楽の基礎(ソルフェージュや和声)といったものから、ソロのレッスンやオーケストラの授業などを履修しています。最近ではコンサートでソロ演奏をさせていただいたり、作曲科の友人の新曲初演や、外部のオーケストラでの演奏、福祉施設でのコンサートなどをさせていただくことも増えてきました。

中等生活で学んだたくさんの方が今の私を形作っているなど日々実感しています。部活や行事、授業の中で培われた考え方が今の自分に生きていていると思います。特に自ら目標をかかげ、考え、試行錯誤しながら達成に向けて諦めずに努力することや、主体的に動くことは、本当に大切なことだと感じています。



イギリスのハープフェスティバル

私は中等ではコーラス部に所属しており毎日歌っていました。困難にぶつかりながらもそれを乗り越え過ごした日々は、自分を成長させてくれました。お世話になった先生方をはじめ、温かい同級生、偉大な先輩方、優秀な後輩たちに尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。恵まれた素敵な環境で学ぶことができたと感じています。

今年の夏にはオーディションに合格し、イギリスで開催された約1週間のハープフェスティバルで演奏させていただきました。刺激的で楽しい日々でした。同年代の世界中のハーピストの方々の演奏を聴き交流したり、様々なコンサートが開催されたりと、海外の音楽や文化に生で触れることができました。ハープソロの演奏だけでなく、エレクトリックハープの演奏や、50台近いハープアンサンブルなどもあり、衝撃を受けました。新たな世界を知ることができました。

大学卒業後には留学してハープの本場であるフランスの大学で勉強したいと考えています。ヨーロッパの風土や文化を感じ、自分の音楽の表現の幅を広げたいです。自分の演奏を通して、ハープの魅力や音楽の素晴らしさを一人でも多くの方に知っていただけたらと思っています。あまりハープのソロ演奏を聴いたことがない方も多いかと思うので、いつか皆様にも演奏を聴いていただくことができましたら大変嬉しいです。

最後になりましたが、皆さまの今後益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。また同窓会等で皆さまとお会いできますことを楽しみにしております。

拙い文章ではございましたが最後までお読みいただき、ありがとうございます。



Ayumi Minato

中等6回生。中等時代はコーラス部に所属、後期副部長。中等4年次に音楽祭の実行委員長を務める。現在、東京藝術大学音楽学部3年生。



オーケストラの本番

■先生だより

吉田 智也先生



Tomoya Yoshida

2012年4月に本校に着任し、1回生を3年間担当した後、7回生の学年主任を6年間務める。現在はSSH研究開発主任。

同窓生のみなさんこんにちは、吉田智也と申します。私は平成24年に本校へ着任し現在11年目を迎えます。この約10年は附属学校改編の影響で制度が毎年目まぐるしく変更し、おそらくみなさん自身もその影響は多分に感じられていたかとは思いますが、その状態もようやく収まり落ち着いて日々が送れるようになりつつあります。

さて、私の担当している業務のうち同窓生のみなさんと関わりの深いものとしては、以下2つあります。

1つ目は教育実習です。大学附属校ということで、おもに神戸大学の学生を対象として年2回（令和4年度実績）教育実習を実施していることはみなさんも生徒側としてよくご存知のことだと思っておりますが、併せて同時期に本校の卒業生の教育実習（母校実習）も実施しています。同窓生のみなさんの中には既に本校で教育実習を終えた方もいらっしゃるれば、これから教育実習をされる予定の方もおられるかと思っております。担当者として教育実習を受け入れる前に一度面談をさせていただいておりますが、随分と立派になられて実習に来られる方が多く、いつもその様子の変容に（いい意味で）驚いております。教育実習の申し込み受付は、例年実習前年度の4月および5月となっております。令和6（2024）年度に実習を考えている方は、もうすぐ申し込みの時期になりますね。お忘れのないようよろしくお願いいたします。

2つ目は研究開発のSSHです。大学附属校は教育研究実践の位置づけとしてもその意味合いが高く、本校では例年2月に授業研究会として他校の先生方をお招きして授業を見ていただいていることもみなさんはよくご存知のことだと思っております。本校は令和2（2020）年度よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）という科学技術系人材の育成のための国のプログラムに採択され、本校独自で作成した計画に基づき、特別なカリキュラムや、大学・研究機関などとの連携、特色を生かした課題研究など様々な取り組みを行っています。ここでも、同窓生の協力を得て実施している事業として、FITLectureがあります。FITとは、学術的素養を育む課題研究や教科教育を異なる角度から補う自治的・体験的学習プログラム「Future Innovator Training」の略で、FITLectureではその課題意識を深めるために各界の有識者や各所で活躍する卒業生など、様々な講師を招聘した講演会を随時行っています。この講師として活躍されている同窓生のみなさんにもご協力いただいております。他の同窓生のみなさんも是非「我こそは」という方がいらっしゃいましたらご協力いただけますと幸いです。

このように、様々なところで同窓生のみなさんとコンタクトを取らせていただいております。引き続き何かご縁があればよろしくお願いいたしますね。

【編集後記】

中等1回生の小黑です。寒い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしですか？

本号は東京同窓会と東京の大学に進学したお二人の玉稿に加え、なんと吉田先生から届いたお写真が東京駅前での自撮り写真…！東の「都」に関する話題が多くなりましたが、1面トップで私の大好きな京都の話題を取り上げることができ、非常に嬉しく感じております(笑)。また、今回は在校生にもご登場いただき、非常に内容盛りだくさんの広報紙が完成しました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

年が明けると7回生は成人式、5回生も同窓会が開かれると聞いております。来年も附属の繋がりを大切にしつつ、卒業生の皆様にとって素晴らしい1年になりますように。良いお年をお迎えください！！

（次号は3月31日発行予定です。）